

学校名	広島県立祇園北高等学校
所在地	広島県広島市安佐南区祇園八丁目25番1号
HP	http://www.gionkita-h.hiroshima-c.ed.jp/
令和3年度 交流内容	<p>【祇園北オールコミュニケーションフェスティバル】 令和3年11月13日(土)、グローバル化に対応する教育プログラムの一環として、オールコミュニケーションフェスティバル@GIONKITA 2021を開催しました。</p> <p>このプログラムは各校の英語教育の実践を発表する場を提供することにより、論理的思考力や英語による表現能力を高めるとともに、生徒相互の交流・親睦を深め、英語学習への意欲向上を図ることをねらいとしています。本年度は高等学校3校(8名)、大学1校(2名)の参加がありました。</p> <div data-bbox="392 689 1406 1066" data-label="Image"> </div> <p>(各校発表場面)</p> <p>主催者を代表して、本校教頭の熱い英語スピーチで会が始まりました。審査員は、安古市高校及び本校に勤務するALTのAlana先生です。また、本校卒業生でSt. Monica Catholic High Schoolで日本語教師として勤務されている吉田志保先生にも、オンラインで、審査員兼講師として御参加いただき、「アメリカで生活(仕事)することで、気づいたこと」というテーマで講演をしていただきました。St. Monica High Schoolで日本語を学ぶGregoryくんもオンラインで交流に参加してくれました。</p> <div data-bbox="392 1429 1406 1794" data-label="Image"> </div> <p>(全体写真)</p> <p>【サーロー節子さんとの交流】 1学年コミュニケーション英語Iの授業において、カナダ在住の被爆者サーロー節子さんのスピーチを視聴し、御本人に1学年238名分のメッセージを送りました。取り組みの概要を報告します。</p>

1 経緯

日ごろ使用しているテキストの中に、スーパーヒーローを扱うレッスンがあり、「真の正義とは何か」、「平和とは何か」について考えました。その関連の題材として、2017 ノーベル平和賞を受賞した国際非政府組織 ICAN (International Campaign to Abolish Nuclear Weapons 核兵器廃絶キャンペーン)と活動を共にし、ノルウェー・オスロ市庁舎で開かれた授賞式において演説をしたサーロー節子さんを取り上げました。

2 取り組み内容

2 学期期末試験後、スピーチ原稿や関連の新聞資料を読んだ上で、授賞式のスピーチ、NHK「目撃にっぽん」(2018.12.23 放映)を視聴しました。その後、スピーチ中の印象に残った部分を記録し、グループで発表しました。そして最後に、サーローさん宛のメッセージを書き、御本人に送付しました。後日、御本人から、

「高校生の真摯なメッセージに深く感動し、また多くの若者たちが核廃絶に関心を寄せていることを知り、大変うれしく誇りに思います。」

とのお返事をいただきました。



(スピーチを視聴している場面)

今後の
交流予定

米国 St. Monica Catholic High School と文化交流会やペンパルプロジェクト等による交流を積み重ね、状況によっては、生徒の派遣(研修旅行の実施)を検討することになっています。